

2017(平成29)年9月23日(土) 東京

(第3種郵便物認可) 新聞定価 朝夕刊月ぎめ 本体価格3,095円(税込み3,343円) 1部売り(税込み) 朝刊110円 夕刊50円

東

教科書や新聞で読解力調査

短い文章から事実を正しく理解する「基礎的読解力」について、国立情報学研究所の新井紀子教授や名古屋大学などのグループが、全国の小中高校生や大学生、社会人を調べたところ、多くの中学生の読解力に問題があることが分かった。中学卒業までの読解力が将来に影響するという。

調査では、中学や高校の教科書や、東京新聞などに掲載された記事など数百の題材をもとに問題を作り、コンピューターで無作為に出題した。三十分間でできるだけ多く解いてもらい、内容を正しく把握できているかを調べた。昨年から今年にかけて、全国の約二万四千人に実施した。問題はすべて選択式で、文章の意

3の15% 短文も理解できず

主語など初步でつまずく



約15%は、主語が分からぬなど、文章理解の第一段階もできていなかった。約半数が、推論や二つの文章の異同などを十分に理解しないなかつた。

また、基礎的読解力は中

学では学年が上がるにつれて緩やかに上昇するが、高校では上昇しなかつた。

校の教科書が理解できず、力が伸びていない可能性が高いなど、あるという。基礎的読解力と進学できる高校の偏差値との間には、強い相関があつた。

基礎的読解力が人生を左右?



中学までが重要

十分な支援
・読みやすい教科書
・教育法の研究

不十分なまま卒業

↓
(例) 運転免許取得にも影響

新井教授は「基礎的な読みができないないと、運転免許など資格の筆記試験にも困難を伴うと予想される。中学卒業までに中学の教科書を読めるようにしなくてはならない」と話した。

グループは今後も調査を継続し、基礎的読解力に困難を抱える子どもの早期発見や支援策の検討に役立てる